

「避難に関する啓発活動」について

意見交換の目的

■意見交換の目的

木津川上流部の取組のうち「避難に関する啓発活動について(課題の整理番号G)」の進捗、内容の深化するための意見交換

●意見交換参考資料

例:宇陀市
宇陀市自主放送チャンネル「うだチャン11」を活用した住民に対する防災知識の普及

例:笠置町
地区別のタイムライン(防災行動計画)の作成支援 等



**木津川上流部における
避難に関する啓発活動
を考えることは重要！**

【避難体制の強化】宇陀市自主放送チャンネル

「うだチャン11」を活用した住民に対する防災知識の普及

宇陀市

【取組内容】：防災知識の普及

【場所】：奈良県宇陀市

【実施内容】

住民の防災地意識の高揚を図るため、CATVを活用し、避難情報や避難方法等の防災力向上を図る。

【開催概要】

宇陀市の情報発信ツールの大きな強みであるケーブルテレビ「うだチャン11」（市内加入率98%）を活用し、市の自主製作による「身近な防災対策」（水害・土砂災害の防災情報の伝え方）や「ハザードマップの見方」（宇陀市版）を作成し出水期を中心に放送を行いました。

【開催状況】

身近な防災対策

水害・土砂災害の
防災情報の伝え方が変わります

危機管理課

5月21日～12月31日の間 1日6回放送（放送回数 1,350回）

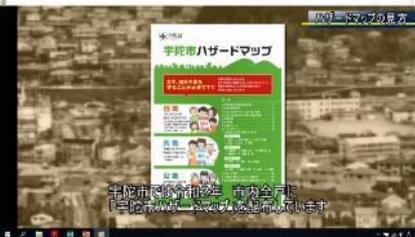


11月1日～12月31日の間 1日6回放送（放送回数 312回）

ハザードマップの見方

危機管理課

自然災害は、感染症等の流行にかかわらずやってきます



その他、消防団募集PVや防災サポーター一養成講座等を放送。4月からは「防災入門～南海トラフ地震から命を守る～」を放送予定

【効果】・基本的な防災知識を得ることで災害時に安全かつ迅速な避難・誘導が行える。

【取組内容】 地区タイムラインの作成

【場 所】 京都府相楽郡笠置町

【実施内容】

地区ごとに応じたタイムラインの作成に係る説明会の実施及び策定支援の実施

【現状の課題】

笠置町内では6地区の集落があり、これまで全地区においてタイムラインが未作成の状態。現在6地区中4地区の作成が完了し、令和3年度内において残り2地区の作成を予定。

防災士による説明会



説明後

タイムライン作成時



- 防災士によるタイムラインの意義等の説明
⇒参加者の理解等を深める
- 各地区の中核を担う自治会役員を参集
⇒地区住民への周知徹底が図れる
- 町作成の防災マップをはじめ様々なツールを使用
⇒ハザード情報の収集に努め、住んでいる地区の状況を把握

- 各地区ごとにタイムラインの作成に着手
⇒ワークショップ形式にすることで意欲的に着手
- 防災士や京都府職員、町職員がサポート
⇒充実したサポート体制のもと取組が可能
- 水害と土砂災害のそれぞれについて素案作成
⇒後日、地区ごとに素案を協議し成果物を町に報告(済)

【効果】

・地区別のタイムラインの作成により有効な避難実行性の確立及び向上が図られた。

○名張市内の黒田地区で引堤事業のハード整備を進めている一方、避難等のソフト対策も重要であり、水害や土砂災害に備えて、いつ・どのように避難するかを話し合う場として12月13日(日)に、名張地区の住民の皆さまを対象に「みんなで逃げよう(MiNi)ワークショップ」を開催しました。

○第1回は地域の災害リスクを知ること、個人の避難行動を考えることをテーマに参加者の皆さまにマイ防災マップとマイ・タイムラインを作成していただきました。

ワークショップの目的

- ◆自分の安全を自分で確保する方法を学び自助を高める。
- ◆地域で支えあう約束づくり。◆緊急時に率先避難する防災リーダーを増やす。
- 【第1回テーマ】地域の災害リスクを確認し、個人の避難行動を考える。(全2回)

～開催概要～

【日時】：12月13日(日) 13時30分～15時30分
 【場所】：名張産業振興センターASPIA 1階 アスピアI・II
 【実施内容】：名張市 みんなで逃げよう (MINi) ワークショップ
 【参加者】：36名(名張地区住民)



新型コロナ対策として、ワークショップをリモート形式で開催



会場スタッフは、マスク、フェイスガード、手袋を着用して飛沫拡散防止と接触を回避

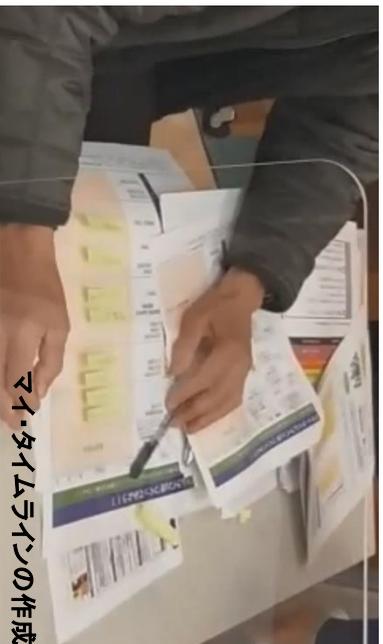
会場の様子は、カメラ映像を東京、大阪と共有しながら実施
 ワークショップの様子

【マイ・タイムライン作成結果】

- ・「台風情報確認」、「食材の買い出し」、「防風対策」、「家族にライン」、「避難可能な服装への着替え」、「ガス、電気、戸締りの確認」、「地域の人を避難所に連れて行く」、「近くの集合住宅の4階に避難」等の防災行動が抽出されました。

【参加者の意見】

- ・南町、朝日町で第二期の河川改修を行うことも踏まえて、危機意識を持ちながらこのような勉強会を開いていただきありがとうございました。

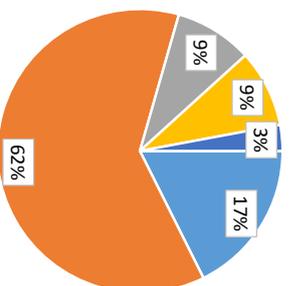


マイ・タイムラインの作成

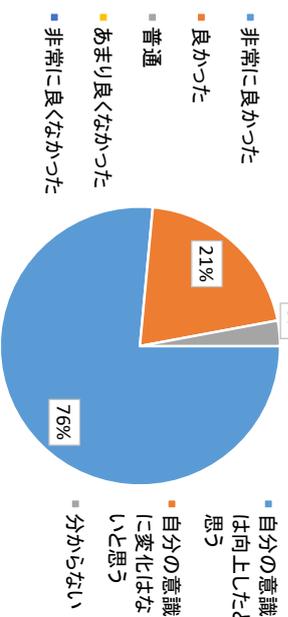
【アンケート結果】

- ・今回の資料を町内の方に配布ができれば意識を高めることができ、自助に繋がるのではないかと考えた。
- ・改めて自分が住んでいる場所を再確認できた。
- ・マイタイムラインを想定することが良かった。
- ・防災意識がより高まった。
- ・情報の入手方法が解った。

ワークショップ内容について



防災への意識の変化について



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 調査課
 〒518-0723 三重県名張市木屋町812-1 (TEL) 0595-63-1611



天川村の地元小中学生に

砂防事業の出前講座を行いました

紀伊半島大水害から10年

～あの日の災害を忘れない～

～紀伊山系砂防事務所・大規模土砂災害対策技術センター～

○紀伊半島大水害で大きな被害を受けた天川村冷水地区校区内の天川小中学校の生徒を対象に、防災学習の一環として、砂防事業の必要性や冷水地区での事業に関する出前講座を実施しました。
○梅雨明け後の強い日差しの中、工事現場で行われている対策工事を見学してもらったほか、ICTを活用した建設機械についても学んでいただきました。



<開催日>

令和3年7月19日(月) 9:40～11:30

<見学場所>

冷水地区(奈良県天川村坪内)

<参加者>

天川村立天川小中学校 7～9年生、教職員【計約40名】



フランチームで土砂災害についての講義を実施。



深層崩壊についても詳しく説明

冷水地区の工事現場に移動して、対策工事の内容を説明。



土砂崩れ実験場で「かご」の説明

さらにICTを活用した重機、工法やインフラDXについても説明。



ICTで建設機にも触れていただきました

最後はみんなので記念撮影。



生徒さんの感想

- ・土砂災害には複数種類があることや、村内で100箇所以上も土砂災害が発生する恐れがあることを知りました。
- ・土砂流や地すべりなどの土砂災害は、身近に起こることが分かりました。日頃から気をつけたいです。
- ・10年前の災害発生時の記憶はないので、今まで実感がわかなかったですが、工事現場に来てみて、改めて本場に大きな災害だと感じました。土砂災害を防ぐ方法を実験キットで見せてくれて分かりやすかったです。
- ・国と県が工事する違いがわかりました。重機がカッコよくて、乗れてうれしかった。

【問い合わせ先】 国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所 調査課

〒637-0002 奈良県五條市三在町1681

TEL 0747-25-3111 (代)



田辺市の地元小学5年生が熊野地区の 土砂災害発生現場を見学しました

紀伊半島大水害から10年
-あの日の災害を忘れない-

～紀伊山系砂防事務所～

○紀伊半島大水害により田辺市熊野地区では、崩壊土砂量526万m³にのぼる深層崩壊とそれに伴う人的被害が発生しました。災害から10年経った現在、砂防堰堤や管理用道路が完成し、引き続き床固め工群の整備等を実施しているところです。
○田辺市の地元小学生に対して、土砂災害について説明講義をした後、熊野地区の災害発生現場を視察いただきました。



<開催日>

令和4年3月8日 (火) 13:00～15:00

<見学場所>

田辺市熊野地区の災害発生現場

<参加者>

田辺市立鮎川小学校5年生19名、他教職員3名



土砂災害の種類を動画やクイズにて説明



熊野地区で発生した災害概要と現在の復旧状況を説明



施工業者による工事内容の説明と測量体験

さあ、目的物までの距離を測ってみよう！



崩壊地をバックにした集合記念撮影

児童さんからの感想・質問

- ・土砂災害の種類を知ることができた。深層崩壊は恐ろしいと思った。
- ・工事は何人がかりでやっているのですか？ 工事にはどれくらいのお金がかかっていますか？
- ・進捗率はどれくらいですか？ 整備完了にはあとどれくらいかかるのですか？

【問い合わせ先】 国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所 調査課

〒637-0002 奈良県五條市三在町1681

TEL 0747-25-3111 (代)



宇陀市役所にて 「土砂災害ポスター展」を開催

～紀伊山系砂防事務所～

今年、紀伊半島に大きな被害をもたらした平成23年紀伊半島大水害から10年となります。今回は平成29年度から紀伊山系砂防事務所の管轄となった宇陀市にて、これまで当事務所でおこなってきた取組みの紹介や土砂災害の危険性、災害への備えの大切さを再認識していただくため、宇陀市役所1Fロビーで「土砂災害ポスター展」を開催いたしました。



開催場所
宇陀市役所 1 Fロビー

開催期間
令和3年8月30日(月)～9月13日(月)



宇陀市役所 1 F ロビーにて展示を行いました

ポスター展ではこんな声がありました。

- あの時はものすごい雨だった記憶がある。
- 宇陀市もハザードマップを発行しているので、もう一度確認しておこうと思う。
- 金剛市長も写っているのを見てビックリした。

次回開催案内

開催場所
那智勝浦体育文化会館 (ワッチン接種会場)

開催期間
令和3年9月13日(月)～9月30日(木)



一般利用の方がご覧している様子

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所 調査課

〒637-0002 奈良県五條市三在町1681 TEL：0747-25-3111 (代)



奈良県と合同で「土砂災害パネル展」を開催

～紀伊山系砂防事務所～

今年の9月で紀伊半島に大きな被害をもたらした平成23年紀伊半島大水害から10年となります。紀伊半島大水害における被災状況とその後の取り組み等の紹介や土砂災害の危険性と防災意識の大切さを再認識していただくため、奈良県との合同でイオンモール橿原店にて「土砂災害パネル展」を開催いたしました。

開催場所

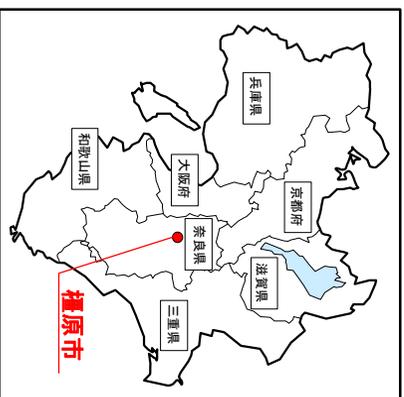
イオンモール橿原 (奈良県橿原市曲川町7丁目20-1)

開催期間

令和3年9月3日(金)～9月6日(月)

共催

- ・奈良県 県土マネジメント部 砂防・災害対策課
- ・国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所



パネル展の会場はイオン2階の広場で実施。



国と県による砂防事業説明の様子。

パネル展ではこんな声がありました。

- 10年も経っているとは思わなかった。
- 近くでこんなにあくさんの土砂災害が起こっているとは知らなかった。防災グッズを見直そうと思います。
- 近所である会合で防災対策について議題にします。

次回開催案内

開催場所

那智勝浦体育文化会館 (ワクチン接種会場)

開催期間

令和3年9月13日(月)～9月30日(木)



土砂災害の仕組みを模型キットを使って説明。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所 調査課

〒637-0002 奈良県五條市三在町1681 TEL：0747-25-3111 (代)

